

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。
毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。（☐koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

市民文芸



歌壇 岩崎聰之介 選

春雨に花現あらわわせる蠟梅ろうばいやこころ和なごしく透ける黄に触る 桜井真喜子
一期一会いちごいちえの方かたと思つてもまたの会い告げて別るべし 小室アイ子
老いゆくわれは バックミラーに津波を見つつ逃れたる怖さ十五年経てど消えざる 齋藤 巖
老いゆゑか落ちこむ日々も多々あれど梅花にさそはれ今朝も庭に出づ 菊地せつ子
春の野の山菜とりの祖母の背におぶわれし日よいまは朧おぼろに 鈴木 雅
風を切り弾丸のごとき滑降やミラノ五輪のスノボに魅入る 末吉アツ子
老いの身の仕事と課して目標は日に三千歩明日につなげん 村上八重子
十歳おと以上はなる姉は中一で吾をおんぶし一里を通いき 我妻 孝則
雪解けて沢辺に鮮やかふきのとう沢の水音は山の春の音 後藤今朝雄
スタスタと好きな場所へと進む孫アンパンマンぞ目的地どこ 佐藤喜恵子

俳壇 山家弘子 選

路味ろみ噌そうを酒の肴に手酌酒
うらけし子供食堂馬も来る
美術館グッホ待つ間の春カフエ
紅梅や枝の先まであと三日

星 明
平間 幸恵
佐藤 隆志
山田 もも

評一首目、密度濃く詠う。花ほつぽつともあるところ。亡き母者が植えたと仰っているの、和しくには其のことも関わらう。
二首目、老いゆく今、願っても再会は無理か、募る思いが言葉となる。べしは意志。
三首目、思ひ出すだけで身震いするらしい、リアルな表白。詞書きを付し記録とされたい。

柳壇 四竈英夫 選

老いてなお土に恋して春耕す里山は夕日の明かり日脚伸ぶ 蔵王嶺を赤く染めたる春朝日 春キャベツ甘味食感夕餉膳 不精よと炬燵好まぬ母なりき 南天の実つゝいばむや二羽の鳥
評一句目、ふきのとうを生そのまま摺りつぶし味噌とまぜ、砂糖みりんなどで味をつける。それを肴に手酌で酒を呑む大酩酊味。
二句目、蔵王山麓の自然豊かな所の子供食堂。放牧の馬が何を食べているのかと寄り来る何とも微笑しい景。
三句目、ゴッホ展の開館時間が待ち遠しい。あの強烈な色彩と激しい筆致の絵に、心が揺さぶられ、清められていく。

クシヤミする誰か噂か花粉症 刺す寒さ眠れぬ夜にガザ想う 眼覚ましは新聞受けの音カタン ライバルを称う絆の冬季五輪 はどほどの距離でつき合う心地良き 筋金の身体は老いて自慢だけ 恩返し昔ばなしの鶴どこへ 福寿草終わりを告げて次フグリ 友好のパンダ来日後はいっすれ違ふ人との老いを見比べる

星 明
木村 芳香
我妻 孝則
末吉アツ子
佐藤 啓子
遠藤 松雄
小室アイ子
遠藤 舞
菊川いつ子
村上八重子

Shiroishi Market

フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～

市内の農産物直売所情報▶



▲食べる際は葉を外し、きな粉をつけてお召し上がりください

伝統の保存食「笹巻き」

宮城県南では、端午の節句の時期に、子どもの健やかな成長を願って笹巻きが作られてきました。笹の葉には防腐作用があり、昔から食品の保存に重宝され、田植えのときのおやつとしても活躍したと言われています。

市内ではおもしろいし市場やバーバ工愛市で販売を予定しています。ほのかな笹の葉の香りとやさしい風味をぜひお楽しみください。

☎農林課 ☎22-1253

皆さんからのすてきな情報を待っています！／

まちかどズームイン



▲演習の締めくくりとして行われた迫力満点の一斉放水

火災に備え消防団が演習
令和8年度白石市消防団春季消防演習

4月5日、白石川緑地公園で「令和8年度白石市消防団春季消防演習」を行いました。演習には消防団員424人が参加し、部隊訓練や一斉放水を行い、日頃の訓練成果を披露しました。我妻一雄消防団長は「今年はすでに火事が10件発生しているため、火の用心を心がけてほしい」と話し、市民へ火の元への注意を呼びかけました。



▲真剣にこけしの絵付けに取り組む児童

地元の伝統工芸を学ぶ
市内小学生による「こけしの絵付け」体験

4月10日、福岡小学校でこけしの絵付け体験が行われました。この体験は、こけし工人を講師に迎え、市内の小学校6年生を対象に毎年実施されています。体験した児童は「難しかったけどとても楽しかった。家に飾りたいです」と話してくれました。児童の作品は、「第68回全日本こけしコンクール」会場に展示されます。



▲力強く「エイ、エイ、オー」と声を響かせるアルカス隊

交通死亡事故ゼロへ出陣！
春の交通安全県民総ぐるみ運動出動式

4月6日から15日までの春の交通安全県民総ぐるみ運動を前に、白石城本丸広場で出動式を行いました。当日は、防犯活動で活躍する白石第二小学校の「アルカス隊」が甲冑武者姿で参加し、白石警察署員や交通安全関係団体とともに関の声を上げ、交通事故を1件でも減らそうと決意を強めました。



▲こけしを丁寧に磨く工人たち

コンクールに向けてきれいに
工人たちがこけしを清掃

4月16日、こけし工人たちが沢端川桜橋の欄干上のこけしを清掃しました。この活動は、全日本こけしコンクールを前に、訪れた観光客をきれいなこけしでお出迎えしようと毎年実施。4月からこけし工人の見習いとなった大川莉穂さんは「自分の手でこけしがきれいになりうれしいです」と話してくれました。